

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2006年11月8日から2026年11月20日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの金融商品取引所に上場されているインフラ関連株式に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・インフラストラクチャー・エクイティ・オープン・リミテッド」（米ドル建て）の投資証券およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）」の受益証券（振替受益権を含みます。）を主要投資対象とします。
組入制限	・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時（毎年5月20日および11月20日。休業日の場合は翌営業日。）に、基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。

## 運用報告書（全体版）

# イーストスプリング・ インド・インフラ株式ファンド

第27期（決算日 2020年5月20日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・インド・インフラ株式ファンド」は、上記の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

（受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで）

ホームページアドレス：<https://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
23期 (2018年5月21日)	円 9,178	円 0	% △10.4	% 98.6	百万円 29,390
24期 (2018年11月20日)	8,681	0	△ 5.4	98.9	26,137
25期 (2019年5月20日)	9,082	0	4.6	98.6	26,129
26期 (2019年11月20日)	9,226	0	1.6	98.8	26,002
27期 (2020年5月20日)	6,082	0	△34.1	98.1	15,672

(注1) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注2) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額	騰落率	投資信託 証券 組入比率
(期首) 2019年11月20日	円 9,226	% —	% 98.8
11月末	9,486	2.8	98.7
12月末	9,625	4.3	99.2
2020年1月末	9,561	3.6	98.9
2月末	9,279	0.6	99.0
3月末	5,748	△37.7	98.5
4月末	6,432	△30.3	99.0
(期末) 2020年5月20日	6,082	△34.1	98.1

(注) 騰落率は期首比です。

## 運用経過

### 基準価額等の推移について

(2019年11月21日～2020年5月20日)



第27期首	9,226円
第27期末	6,082円(既払分配金0円)
騰落率	-34.1%(分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

### 基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は下落しました。

下落要因

- ・インフラ関連株式が下落したこと。
- ・インドルピーが対円で下落したこと。

### インド株式市場

期初からインド株式市場は緩やかな上昇傾向となり、2020年1月中旬にはNifty50指数などの主要株価指数は過去最高値を更新しました。インド政府が2月1日に発表した2020/21年度国家予算案は、事前の期待が先行したことや長期キャピタルゲイン税の軽減等が盛り込まれなかったことから期待外れと見られ、一時、株式市場は下落しましたが、経済指標の改善などを受けて反発しました。2月下旬以降は、新型コロナウイルスの感染拡大による世界的な経済への悪影響が懸念されてインド株式市場は軟調となり、3月には下げ幅を拡大しました。3月末に米政府が新型コロナウイルス感染拡大を受け大型の経済対策法を成立させたことをきっかけに投資家心理は改善し世界的に株式が買い戻される中で、インド株式市場も持ち直しました。5月には国内の経済活動等の制限が長引く一方で感染者数が急増していることなどから再び調整し、期末を迎えました。

### 為替市場

インドルピーは、期初から2020年2月まで対米ドルでレンジ内での推移となりました。3月は新型コロナウイルス感染拡大による世界経済への悪影響が懸念されて投資家心理が悪化し、ルピーは対米ドルで急落しました。3月下旬に一時ルピーが買い戻される場面もありましたが、4月に再び売られ、過去最安値をつけました。その後やや持ち直して期末を迎え、通期ではルピー安米ドル高となりました。

一方、円は対米ドルで3月に大幅に上昇する場面がありましたが、その後反落し、通期では小幅な円高米ドル安となりました。これを受けてルピーは通期で対円でも下落しました。

### 国内債券市場

期初から2020年1月中旬にかけて日本国債利回りは上昇（価格は下落）しました。しかし、その後は新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大して投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどを受けて利回りは低下しました。3月中旬には金融市場の混乱から、換金売りが膨らんで利回りが急上昇しましたが、3月下旬には落ち着きを取り戻し、期末を迎えました。通期では利回り上昇となりました。

## ポートフォリオについて

### 当ファンド

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ・インディア・インフラストラクチャー・エクイティ・オープン・リミテッド（以下「インディア・インフラストラクチャー・エクイティ・オープン」ということがあります。）の組入比率を高位に保つよう運用しました。

### インディア・インフラストラクチャー・エクイティ・オープン

インドのインフラ関連企業の株式を主要投資対象とし、長期的な成長を目指した運用を行いました。個別銘柄調査とバリュエーションを重視し、市場全体およびセクター内で割

安に評価されている銘柄を中心に投資を行い、割高となった銘柄の組入れを減らしました。当期は、景気の悪化が貸出や資産の質に影響する可能性が懸念されたアクシス銀行やインドステイト銀行の保有がマイナス要因となりました。

### イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型I (適格機関投資家向け)

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス(1-10年債)を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり、税引前）

項目	第27期	
	2019年11月21日 ～2020年5月20日	
当期分配金	(円)	—
（対基準価額比率）	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,069

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)－印は該当がないことを示しています。

## 今後の運用方針について

### 当ファンド

主要な投資対象の一つであるインディア・インフラストラクチャー・エクイティ・オープンの組入比率を高位に保つことを基本とします。

### インディア・インフラストラクチャー・エクイティ・オープン

インド経済については、強気の長期見通しを維持しています。2020年3月下旬以降、ロックダウン（都市封鎖）が2ヵ月以上にわたって実施されたことでインドの経済活動は打撃を受けましたが、ロックダウンの緩和および解除に動けば徐々に経済活動は平常化すると見えています。投資家心理の悪化を背景に、3月に外国人投資家からの大幅な資金流

出が起こったため、インド株式市場は現状、売られ過ぎの水準にあると見えています。変動性が高まった局面をうまく使って積極的に投資を行う好機であると考えます。

### イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型I（適格機関投資家向け）

今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行い、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス（1－10年債）を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。

日銀が政策金利やイールドカーブコントロール政策を大きく変えることはないと考えており、利回りは安定して推移すると考えています。

# 1 万口当たりの費用明細

(2019年11月21日～2020年5月20日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	56円	0.671%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 期中の平均基準価額は、8,355円です。
(投信会社)	(23)	(0.274)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(32)	(0.383)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	( 1)	(0.015)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	1	0.007	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(保管費用)	( 0)	(0.000)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	( 0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	( 0)	(0.003)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
合計	57	0.678	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

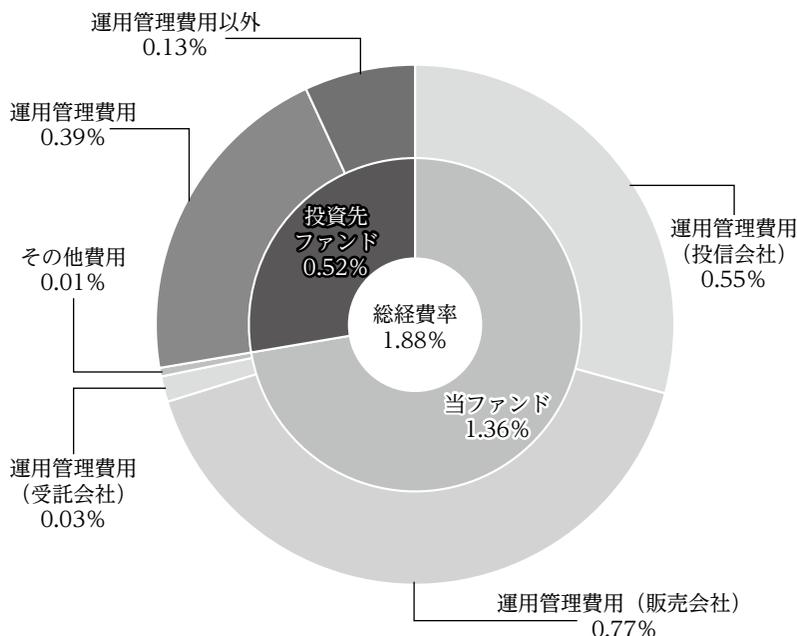
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

## (参考情報)

### ■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.88%です。



総経費率 (①+②+③)	1.88%
①当ファンドの費用の比率	1.36%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.39%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.13%

(注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 売買及び取引の状況

(2019年11月21日から2020年5月20日まで)

### 投資信託証券

			買 付		売 付	
			口 数	金 額	口 数	金 額
			千口	千米ドル	千口	千米ドル
外国	米ドル建 モーリシャス籍	イーストスプリング・インベストメンツ・ インディア・インフラストラクチャー・ エクイティ・オープン・リミテッド	—	—	1,212	21,000

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 単位未満は切捨てです。

## 利害関係人との取引状況等

(2019年11月21日から2020年5月20日まで)

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## 組入資産の明細

(2020年5月20日現在)

### (1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	期首 (前期末)	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
	千口	千口	千円	%
イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)	99,168	99,168	107,280	0.7
合 計	99,168	99,168	107,280	0.7

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

### (2) ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	期首 (前期末)	当 期 末			比 率
	口 数	口 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	千口	千口	千米ドル	千円	%
イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・ インフラストラクチャー・エクイティ・オープン・リミテッド	13,078	11,866	141,411	15,269,571	97.4
合 計	13,078	11,866	141,411	15,269,571	97.4

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

## 投資信託財産の構成

(2020年5月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	107,280	0.7
投 資 証 券	15,269,571	96.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	449,226	2.8
投 資 信 託 財 産 総 額	15,826,077	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注2) 外貨建純資産(15,269,571千円)の投資信託財産総額(15,826,077千円)に対する比率は96.5%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2020年5月20日における邦貨換算レートは、1米ドル=107.98円です。

## 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年5月20日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	15,826,077,401円
コール・ローン等	449,225,750
投資信託受益証券(評価額)	107,280,237
投資証券(評価額)	15,269,571,414
(B) 負 債	153,557,730
未 払 解 約 金	3,589,497
未 払 信 託 報 酬	148,454,341
未 払 利 息	1,316
そ の 他 未 払 費 用	1,512,576
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	15,672,519,671
元 本	25,769,413,031
次 期 繰 越 損 益 金	△10,096,893,360
(D) 受 益 権 総 口 数	25,769,413,031口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,082円

(注1) 元本の状況

期首元本額 28,183,882,407円

期中追加設定元本額 306,043,069円

期中一部解約元本額 2,720,512,445円

(注2) 1口当たり純資産額は0.6082円です。

(注3) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

## 損益の状況

当期(自2019年11月21日 至2020年5月20日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 193,832円
支 払 利 息	△ 193,832
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 7,915,585,521
売 買 益	211,747,160
売 買 損	△ 8,127,332,681
(C) 信 託 報 酬 等	△ 150,017,804
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△ 8,065,797,157
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 1,749,638,873
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 281,457,330
(配当等相当額)	( 2,040,165,006)
(売買損益相当額)	(△ 2,321,622,336)
(G) 計 (D+E+F)	△10,096,893,360
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△10,096,893,360
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 281,457,330
(配当等相当額)	( 2,040,165,006)
(売買損益相当額)	(△ 2,321,622,336)
分 配 準 備 積 立 金	715,797,586
繰 越 損 益 金	△10,531,233,616

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(2,040,165,006円)および分配準備積立金(715,797,586円)より、分配対象収益は2,755,962,592円(10,000口当たり1,069円)ですが、当期に分配した金額はありません。

## 分配金のお知らせ

当期の分配金は基準価額水準および市況動向等を勘案し、見送らせていただきました。

## お知らせ

該当事項はありません。

<参考情報>

■投資対象とする投資信託証券の仕組み

ファンド名	イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・インフラストラクチャー・エクイティ・オープン・リミテッド	
形態	モーリシャス籍外国投資法人／オープン・エンド型	
表示通貨	米ドル	
運用の基本方針	インドのインフラ関連企業の株式を主要投資対象とし、長期的な成長を目指した運用を行います。	
主な投資対象	インドのインフラ関連企業の株式	
ベンチマーク	ありません。	
ファンドの関係法人	運用会社	イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッド
	投資顧問会社	ICICI ブルーデンシャル・アセット・マネジメント・カンパニー・リミテッド（略称：ICICIAM）※ <sup>1</sup>
	管理会社	Vistra Alternative Investments (Mauritius) Limited
申込手数料	ありません。	
運用報酬および管理報酬等	年率0.60%（上限）	
その他の費用・手数料	有価証券売買時の売買委託手数料等がかかります。	
設立日	2006年10月9日	
決算日	毎年8月31日	

ファンド名	イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）	
形態	国内籍証券投資信託／適格機関投資家私募	
表示通貨	日本円	
運用の基本方針	わが国の国債を中心に、国債、政府保証債、地方債等の公共債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。	
主な投資対象	日本の国債、政府保証債、地方債	
ベンチマーク	ICE BofA 国債インデックス（1－10年債）※ <sup>2</sup>	
ファンドの関係法人	委託会社	イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
	投資顧問会社	イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッド
	受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の5%以内とします。</li> <li>・投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。</li> <li>・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</li> </ul>	
申込手数料	ありません。	
信託報酬	年率0.22%（税抜0.2%）	
その他の費用・手数料	監査費用、有価証券売買時の売買委託手数料等がかかります。	
設定日	2002年8月26日	
決算日	毎年2月25日（休業日の場合は翌営業日）	

※1 ICICIAMは、ICICI銀行と世界有数の金融サービスグループを展開する英国ブルーデンシャル社（以下「最終親会社」）との合弁会社です。

なお、最終親会社およびICICIAMは、主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。

※2 ICEデータ・サービスおよびその関連会社は、提供するインデックスデータに関してその継続性、正確性、完全性を保証するものではなく、当該データ提供に係り発生し得る損害についてもその事由の如何を問わず責任を負うものではありません。

「イーストスプリング・インド・インフラ株式ファンド」が主要投資対象とする「イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・インフラストラクチャー・エクイティ・オープン・リミテッド」の情報をご報告申し上げます。法令等に則り、2019年8月31日を基準日とするFinancial Statements（監査済み）を基に、委託会社が抜粋、翻訳したものを記載しております。

## 純損益及びその他包括利益計算書

2019年8月31日に終了した事業年度

米ドル

### 収益

受取配当金	3,795,228
投資有価証券の売却に係る実現純利益（損失）	(5,354,676)
投資有価証券の再評価に係る未実現純利益（損失）	(11,713,008)
	<u>(13,272,456)</u>

### 費用

運用報酬	(927,571)
保管銀行費用	(96,657)
管理費用	(47,452)
計算事務費用	(41,966)
銀行手数料	(5,424)
取引手数料	(16,975)
免許登録費用	(5,325)
専門家報酬	(38,857)
監査報酬	(48,248)
その他費用	(7,364)
売買委託手数料	(861,452)
外国為替取引に係る実現純利益（損失）	(241,599)
外国為替取引に係る未実現純利益（損失）	(77,987)
	<u>(2,416,877)</u>

償還可能優先証券保有者に帰属する税引前純資産の変動額	(15,689,333)
税金	(106,469)
償還可能優先証券保有者に帰属する純資産の変動額	<u><u>(15,795,802)</u></u>

## 投資有価証券明細表

2019年8月31日現在の上場株式

銘柄	株数	取得金額 (米ドル)	評価金額 (米ドル)	対純資産比率 (%)
ACC Limited	50,871	1,021,282	1,077,451	0.49%
AMBUJA CEMENTS LTD	1,128,250	3,413,091	3,181,520	1.47%
AXIS BANK LTD	2,164,848	17,211,315	20,028,855	9.18%
BAJAJ FINANCE LTD	209,509	7,574,382	9,729,687	4.46%
BHARTI AIRTEL LTD	1,509,166	7,237,580	7,293,603	3.34%
BAJAJ FINSERV LTD	55,424	4,611,574	5,498,908	2.52%
BODAL CHEMICALS LIMITED	822,436	2,172,939	818,326	0.38%
Brigade Enterprises Ltd	469,571	1,129,647	1,306,787	0.60%
CONSO_CONSTRUCTION_CONSORTIUM	3,187,919	3,418,120	39,983	0.02%
CONTAINER CORP OF INDIA LTD	1,202,275	7,828,573	8,516,281	3.91%
Chalet Hotels Limited	847,971	3,336,329	3,463,561	1.59%
Dixon Technologies India LTD	41,939	1,194,283	1,554,742	0.71%
Engineers India Ltd	1,976,610	4,818,953	2,826,145	1.30%
EASUN REYROLLE LIMITED	1,499,989	2,257,149	80,478	0.04%
GAIL INDIA LTD	1,841,638	3,359,134	3,331,233	1.53%
GATEWAY DISTRI PARKS LTD	1,088,559	2,408,455	1,488,151	0.68%
GEI INDUSTRIAL SYSTEMS LIMITED	872,000	1,227,946	—	0.00%
GREAT EASTERN SHIPPING CO	735,169	4,034,659	2,457,783	1.13%
GUJARAT PIPAVAV PORT LTD	858,443	1,999,884	936,697	0.43%
GUJARAT GAS LTD	1,103,479	2,615,973	2,739,529	1.26%
GUJARAT STATE PETRONET LTD	1,872,970	3,942,942	5,738,301	2.63%
GRINDWELL NORTON LTD	376,000	3,228,644	2,928,519	1.34%
HDFC BANK LIMITED	105,706	3,716,763	3,281,944	1.50%
HINDALCO INDUSTRIES LTD	2,714,764	9,626,718	6,978,093	3.20%
ICICI BANK LTD	3,709,790	15,704,897	21,178,165	9.71%
ITD Cementation India Ltd FV1	1,790,942	1,134,956	1,732,076	0.79%
KOTAK MAHINDRA BANK LTD	519,924	8,669,510	10,371,512	4.76%
LIC HOUSING FINANCE LTD	157,929	941,826	936,236	0.43%
LARSEN & TOUBRO LTD	978,755	18,549,866	18,116,732	8.31%
Mahanagar Gas Ltd	233,585	2,542,926	2,751,415	1.26%
MAHINDRA & MAHINDRA FIN SECS	415,042	2,516,058	1,850,547	0.85%
MOTHERSON SUMI SYSTEMS LTD	1,461,671	3,481,887	1,996,189	0.92%
NTPC LTD	8,573,116	16,766,928	14,533,722	6.66%
OBEROI REALTY LTD	100,914	694,236	798,707	0.37%

銘柄	株数	取得金額 (米ドル)	評価金額 (米ドル)	対純資産比率 (%)
Orient Electric Limited	527,909	1,055,923	1,157,582	0.53%
THE PHOENIX MILLS LIMITED	175,000	1,528,725	1,697,358	0.78%
Poddar Housing and Development Ltd	54,358	992,699	202,256	0.09%
PRESTIGE ESTATE PROJECTS	324,409	944,087	1,336,134	0.61%
RELIANCE INDUSTRIES LTD	1,006,988	16,688,564	17,520,895	8.03%
Sadbhav Engineering Ltd	565,150	1,888,211	1,073,066	0.49%
State Bank of India	487,958	2,263,391	1,862,178	0.85%
SPICE JET LTD	732,325	1,415,737	1,355,787	0.62%
SHREE CEMENT LTD	18,456	4,518,878	4,777,101	2.19%
Starlog Enterprises Limited	394,158	747,253	94,202	0.04%
TRIVENI TURBINE LTD	696,213	1,305,676	962,454	0.44%
VEDANTA LTD	2,451,130	10,911,828	4,753,085	2.18%
VOLTAS LTD	237,433	2,144,519	2,117,615	0.97%
	52,348,661	220,794,916	208,471,591	95.59%
その他資産			9,610,684	4.41%
純資産			218,082,275	100.00%

「イーストスプリング・インド・インフラ株式ファンド」が組み入れている「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）」の直近の決算にかかる運用状況をご報告申し上げます。

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期 2019/2/26 ～2020/2/25		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	24円	0.220%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、10,888円です。
（投信会社）	(16)	(0.143)	委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
（販売会社）	(2)	(0.022)	
（受託会社）	(6)	(0.055)	
(b) その他費用	1	0.014	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0.014)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	25	0.234	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 組入資産の明細

(2020年2月25日現在)

公社債

(A) 種類別開示

国内（邦貨建）公社債

組入有価証券明細表

区分	当			期		末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格 以下 組入比率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	
国債証券	667,000	706,379	98.1	—	41.4	18.6	38.1	
合計	667,000	706,379	98.1	—	41.4	18.6	38.1	

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注3) —印は組入れなしです。

(B) 個別銘柄開示  
 国内（邦貨建）公社債  
 組入有価証券明細表

種 類	銘 柄	当 期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	第306回 利付国債（10年）	%	千円	千円	
	第310回 利付国債（10年）	1.4	20,000	20,020	2020/03/20
	第311回 利付国債（10年）	1.0	25,000	25,168	2020/09/20
	第313回 利付国債（10年）	0.8	50,000	50,281	2020/09/20
	第313回 利付国債（10年）	1.3	25,000	25,395	2021/03/20
	第315回 利付国債（10年）	1.2	20,000	20,365	2021/06/20
	第351回 利付国債（10年）	0.1	50,000	51,203	2028/06/20
	第354回 利付国債（10年）	0.1	59,000	60,326	2029/03/20
	第47回 利付国債（20年）	2.2	40,000	40,544	2020/09/21
	第48回 利付国債（20年）	2.5	50,000	51,101	2020/12/21
	第53回 利付国債（20年）	2.1	40,000	41,678	2021/12/20
	第60回 利付国庫債券（20年）	1.4	30,000	31,375	2022/12/20
	第63回 利付国債（20年）	1.8	50,000	53,370	2023/06/20
	第67回 利付国債（20年）	1.9	45,000	48,908	2024/03/20
	第75回 利付国債（20年）	2.1	20,000	22,374	2025/03/20
	第80回 利付国債（20年）	2.1	38,000	42,738	2025/06/20
	第87回 利付国債（20年）	2.2	55,000	63,155	2026/03/20
第91回 利付国債（20年）	2.3	50,000	58,372	2026/09/20	
合 計			667,000	706,379	

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。